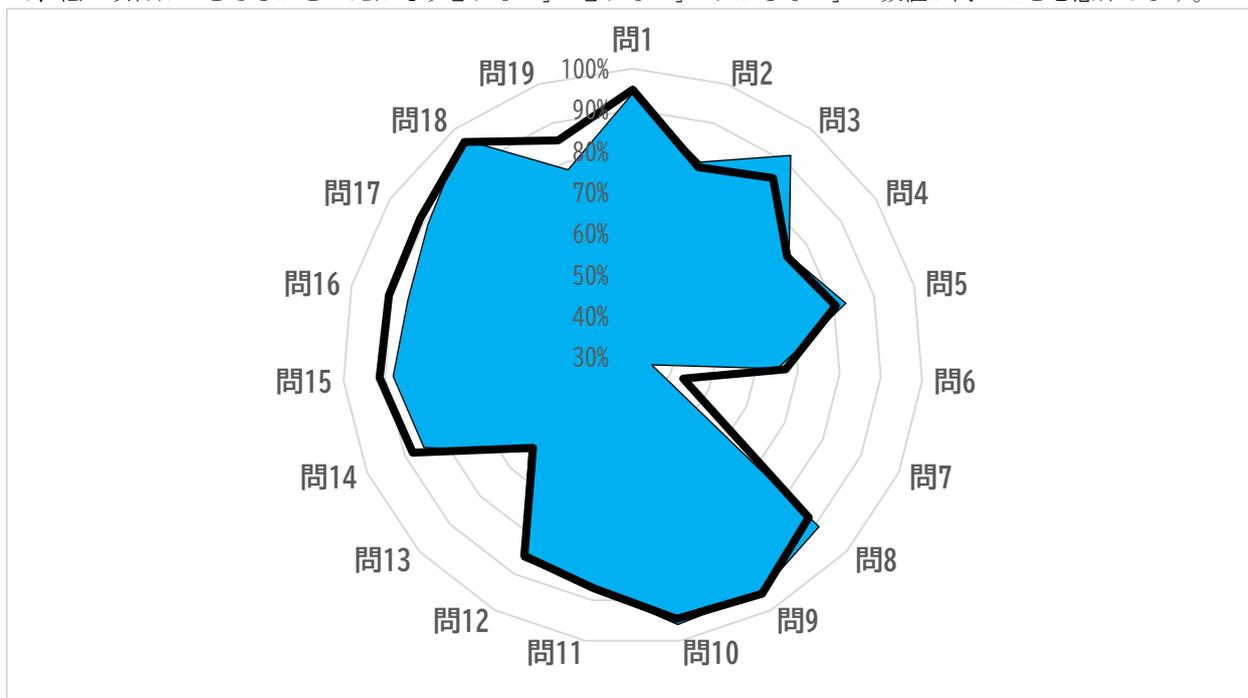


# 令和4年度万田小学校【2回目】学校評価アンケート集計結果

荒尾市立万田小学校 校長 北岡 誉久

先日まで協力いただきました、2回目の学校評価アンケートありがとうございました。本年度は2回の学校評価を実施することとしました。前回及び今回の結果を基に、来年度の教育活動に反映させて参ります。(1回目結果：黒太線、2回目結果：色ぬり部分)

※グラフは、各質問項目において「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を合わせた数値となっていますので、低い項目は「どちらかといえばそう思わない」「思わない」「わからない」の数値が高いことを意味します。



黄色のセルは8割未満の項目 2回目の斜体文字は1回目から上昇したものです。

		1回目	2回目
問1	万田小は、本年度の教育目標「誰もが活躍し、子供が自立できる学校」に向けた取組ができていると思いますか。	95%	94%
問2	お子さんは、主体性（進んで挑戦しようとする姿）が身に付いていると思いますか。	79%	<i>80%</i>
問3	お子さんは、協働性（仲間とともに高めようとする姿）が身に付いていると思いますか。	85%	<i>92%</i>
問4	お子さんは、自律性（自分をコントロールする姿）が身に付いていると思いますか。	74%	<i>75%</i>
問5	お子さんは、「学習内容がわかる」と言っていますか。	80%	<i>83%</i>
問6	お子さんは、宿題や家庭学習を工夫して取り組んでいますか。	67%	65%
問7	お子さんは、メディアの時間（スマホやテレビ、ゲームなど）をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	43%	35%
問8	あなたは、自分からお子さんに対して、明るく元気なあいさつをすることができていますか。	88%	<i>91%</i>
問9	お子さんは、楽しく学校に通うことができていますか。	95%	95%
問10	お子さんは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思われませんか。	95%	<i>96%</i>
問11	お子さんは、約束やきまり（家庭内・学校内・交通ルール等）を守った生活ができていますか。	87%	87%
問12	お子さんは、生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣が身に付いていますか。	85%	<i>86%</i>
問13	お子さんは、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着が身につけていると思いますか。	63%	<i>64%</i>
問14	万田小は、お子さんの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	88%	85%
問15	万田小は、いじめや差別をなくするために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	91%	88%
問16	万田小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	91%	86%
問17	万田小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	91%	89%
問18	万田小は、「学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等」で、学校や学級の様子を適切に伝えていると思いますか。	96%	<i>97%</i>
問19	万田小は、職員の働き方改革に向けた業務改善ができていると思いますか。	86%	78%

### 【学校教育目標に関する内容 問1～問4】

- 学校教育目標に向けた本校の取組に関して、7月同様高い評価をいただきました。引き続き取組を進めていきたいと思えます。
- また、子供たちに身につけてほしい3つの資質能力（主体性・協働性・自律性）に関して、いずれも前回から肯定的評価の割合が伸びています。子供さんの様子からそれらの伸びを感じ取っていただいていることを嬉しく思えます。
- ▲ ただし自律性（自分をコントロールする姿）については、いまだに80%を下回っています。この後の問6や問7にも関連してくる項目ですので、学校だけでなくご家庭とも連携を図って取り組んでいきたいと思えます。

### 【学習に関する内容 問5～問6】

- 学習内容がわかると言っているご家庭が多く、前回よりも3ポイント上がっていることは大変うれしく思えます。しかし、17%は、「学習内容が分かっていない」と回答をしていることを忘れてはならないと思っています。誰一人取り残さない学びの保障を行うために、子供たちが「わかる・できる」と感じられる授業づくりを行います。
- ▲ 宿題や家庭学習を工夫して取り組ませるためには、子供たちが工夫しなければ取り組めないような課題設定を考える必要があります。今回、自主学習ノートコンテストの提案などを行いました。これらがイベントで終わらずに、定着・習慣化されるように進めて参ります。

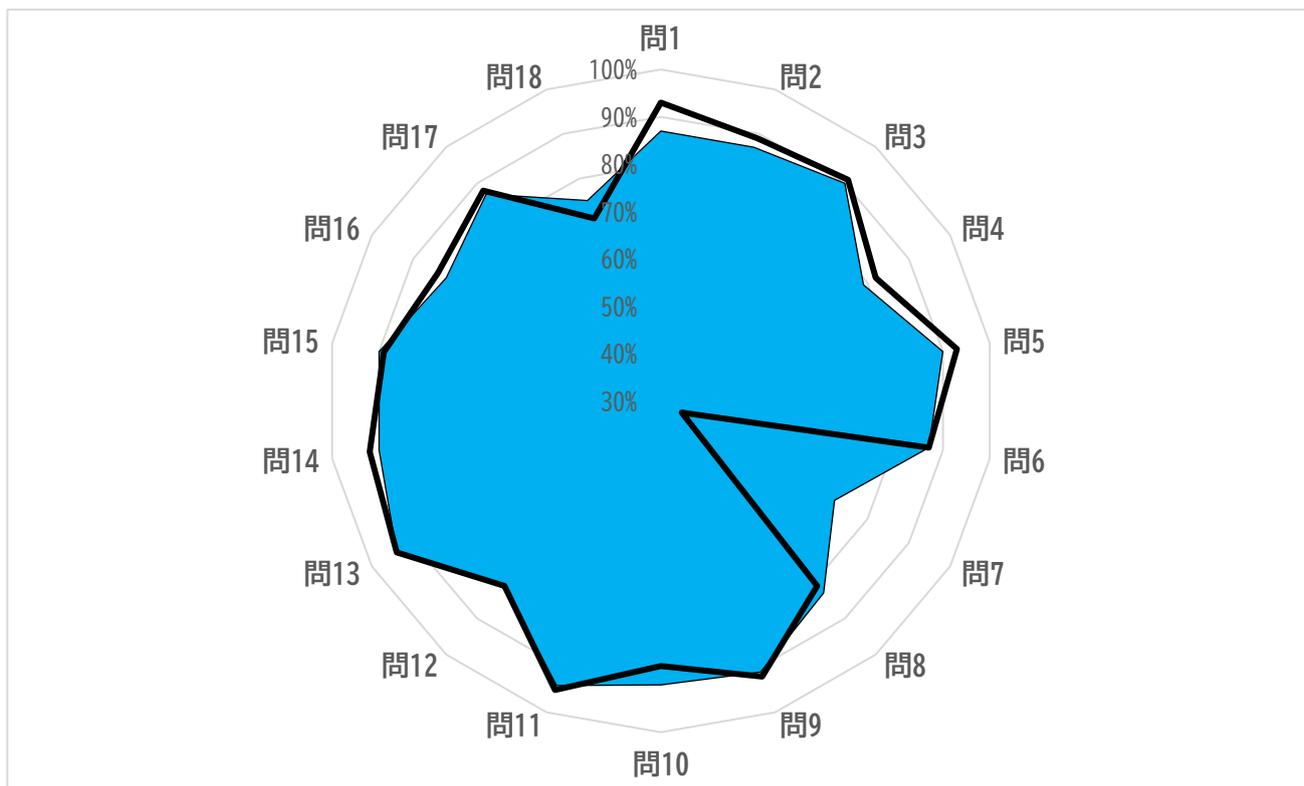
### 【子供さんの様子や家庭生活及び地域とのつながりに関する内容 問7～問13】

- 「楽しく学校に通っている」「いじめを許さないなどの人権意識が育っている」という項目が95%を超えていました。しかしながら、数%でもその逆の意見があることの重みを大切にしたいと思えます。子供たちにとって、学校が安心・安全な居場所となっていることを継続させていきます。
- 各ご家庭で「自分からお子さんに対して、明るく元気なあいさつをすることができている」「約束や決まりを守った生活ができている」「生活リズムの習慣が身についている」といった項目において、各家庭で取り組んでおられることに感謝します。
- ▲ 問4にも通じる「メディアコントロール」に関しては、残念ながら前回よりもさらに8ポイント下がってしまいました。約4割のご家庭では「できている」という回答があるのも事実です。その約4割のご家庭での実践例などを、PTAに情報提供をお願いします。寄せられた実践例等を、PTAから発信してもらおうと考えていますので、よろしくをお願いします。
- ▲ 地域とのつながりを通じた地域への愛着については、本年度、児童会も様々な地域行事に積極的に参加してきました。また、地域貢献を意識した取組（学童クラブでの読み聞かせ、子ども食堂への食材提供、万田坑ガイドや万田坑のチラシ作成、クリーン大作戦など）も子供からの提案で実現してきています。これらの取組について、各家庭に情報が届くような周知方法の工夫をしたいと思えます。

### 【万田小の取組に関する内容 問14～問19】

- 問18の学校の様子を伝える点については、今後もタイムリーかつ効果的な周知を進めて参ります。
- ▲ 問19の質問は、働き方改革を通じて職員が心身ともに健康であることが、何より質の高い教育につながります。そのためにも、業務改善を進める必要があります。学校ガイドにも記載していますが、勤務時間の周知や留守番電話等もその一つです。元気で澁刺とした職員の姿こそ、持続可能な教育につながりますので、ご理解並びにご協力をお願いします。

### 【児童による評価】



黄色のセルは8割未満の項目 2回目の斜体文字は1回目から上昇したものです。

		1回目	2回目
問1	本年度のキーワード「みんながかつやく！一歩前進」に向けた取組ができていると思いますか。	93%	87%
問2	主体性（進んで挑戦しようとする姿）が身に付いていると思いますか。	89%	87%
問3	協働性（友達と協力しながら解決に導く力）が身に付いていると思いますか。	91%	90%
問4	自律性（自分をコントロールする姿）が身に付いていると思いますか。	82%	79%
問5	学校の授業（学習内容）はわかりますか。	93%	90%
問6	宿題や家庭学習を工夫してがんばっていますか。	87%	87%
問7	メディアの時間（スマホやテレビ、ゲームなど）をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	35%	72%
問8	自分から家庭内や地域で明るく元気なあいさつをすることができますか。	81%	83%
問9	楽しく学校に通うことができますか。	92%	91%
問10	友達をからかったり、いじめたりすることを許さない心が身についていますか。	86%	90%
問11	学校や家、地域（公園など）での約束やきまり（交通ルールも）を守った生活ができていますか。	95%	94%
問12	生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）は守れていますか。	81%	81%
問13	地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、万田小学校区や荒尾市のことを大切にしたいと思いますか。	94%	94%
問14	地域の人たちと一緒に学習や活動をするのは楽しいですか。	92%	90%
問15	いじめや差別をなくために、道徳や人権集会で学んだことをいかして生活していますか。	89%	90%
問16	自分の学力をのびすために積極的に授業に参加したり、家庭学習に取り組んだりしていますか。	84%	82%
問17	体力の向上や健康面を考えた生活をおくっていますか。	88%	87%
問18	学校だよりや学級通信、ホームページを読んだり、おうちの人と話題にしたりしていますか。	71%	75%

#### 【学校教育目標に関する内容 問1～問4】

- 7月と比較すると若干ポイントは下がっているものの、学校教育目標に向けた取組や3つの資質・能力（主体性・協働性）が身につけていることを肯定的に捉えている子供は依然高い水準であることは、大変喜ばしいと思います。
- ▲ 今回、自律性が身につけているかという問4については、8割を下回りました。問7とも関連する項目ですので、教育活動全般で取り組むとともに、自らを律する経験を積ませるような取組を心がけていきたいと思います。

#### 【学習に関する内容 問5～問6】

- 「授業（学習内容）がわかる」と答えている子供は、今回も9割が肯定的に答えていました。誰一人取り残さない学びの保障を全職員で引き続き取り組んでいきます。
- ▲ 「家庭学習を工夫してがんばる」ことは、子供たちが主体的に取り組めるような課題（自主学习ノートへの取組等）を引き続き増やしていきたいと思います。

#### 【生活及び自分自身のことに関する内容 問7～問12】

- 「楽しく学校に通うことができる」という項目について、今回も90%を超える肯定的な回答は、喜ばしい結果でした。しかし、残り10%の子供たちの存在を忘れず、誰一人取り残さない安心・安全な学校づくりを進めていきたいと思います。
- 「友達をからかったり、いじめたりすることを許さない心が身についていますか。」という問いに対して、90%を超える肯定的な回答があり、意識の高さを大変うれしく思います。この意識の高さに満足することなく、全ての子供たちがいじめにつながる言動にいち早く気づき、絶対に許さないという実践行動につなげられるように、今後も粘り強く人権教育を進めていきます。
- ▲ メディア時間をコントロールすることについては、7月の結果と比べると大きく向上しています。しかし、未だ8割に満たない状況です。この点に関しましては、各家庭での取組が必要なことですので、情報モラルを含めて、PTAと連携を考えていかなければならないと思います。

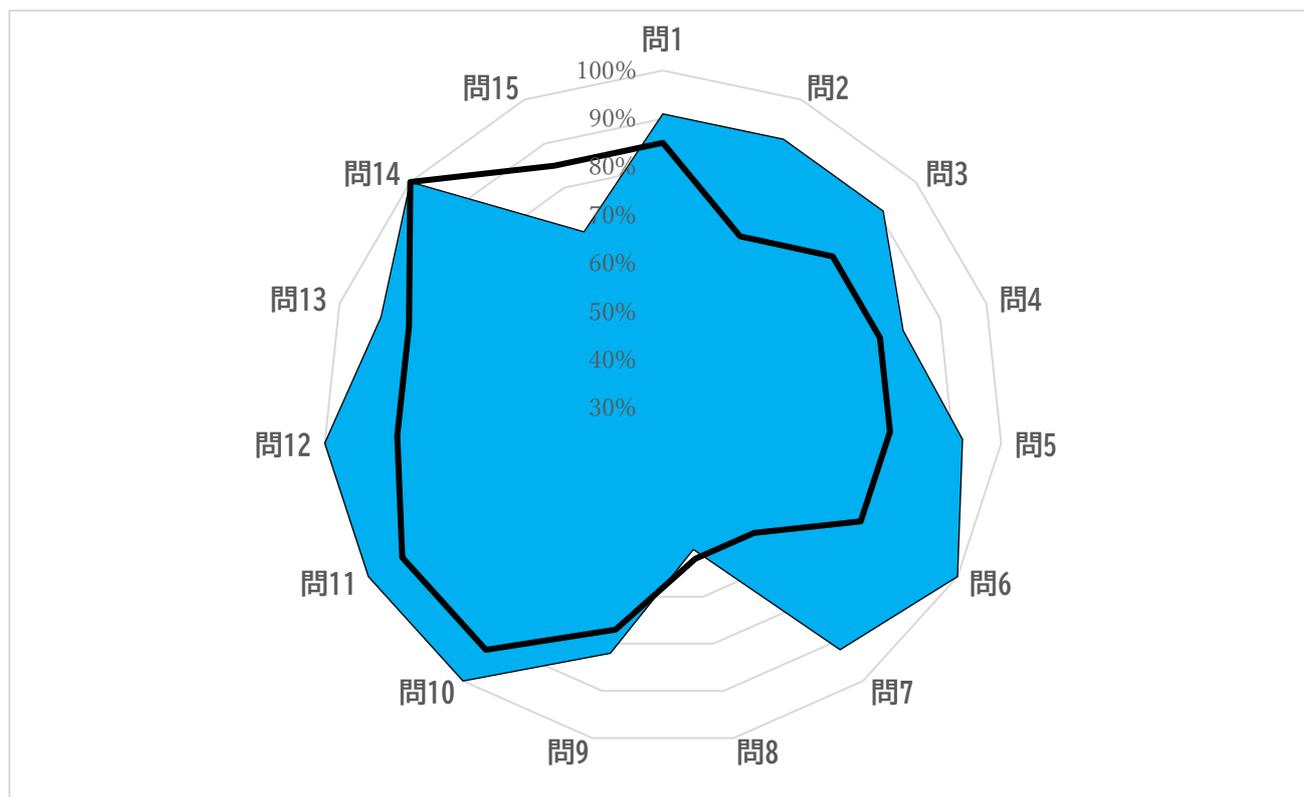
#### 【地域とのつながりや学んだことを生かそうとすることに関する内容 問13～問17】

- 今回も「問13や問14」の回答は90%を超えています。全学年で地域人材や高校生・大学生の活用を通じた地域学校協働活動に取り組んでいることや、児童会からの提案による地域イベントへの参加が増えたことも要因の一つと考えています。各学年では、積極的に地域の教育力を導入していることなどから、地域愛が醸成されていると考えられます。今後も積極的に地域とのかかわりを大切にしていきます。

#### 【学校からのお知らせを家族と共有することに関する内容 問18】

- ▲ 本校の情報発信に対しては、保護者からも学校運営協議会委員からも高い評価を得ていましたが、子供たちの評価としては、今回も8割に満たない結果となりました。子供たちが、ご家族と話題を楽しめるような情報提供になるように、引き続き学校だよりやHPの紙面づくりを工夫していきたいと思います。

### 【学校運営協議会委員による評価】



黄色のセルは8割未満の項目 2回目の斜体文字は1回目から上昇したものです。

		1回目	2回目
問1	あなたは、本年度の教育目標「誰もが活躍し、子供が自立できる学校」に向けた取組を提案又は実践されていますか。	85%	<i>91%</i>
問2	あなたは、子供たちの主体性（進んで挑戦しようとする姿）を意識した取組を提案又は実践されていますか。	69%	<i>91%</i>
問3	あなたは、子供たちの協働性（仲間とともに高めようとする姿）を意識した取組を提案又は実践されていますか。	77%	<i>91%</i>
問4	あなたは、子供たちの自律性（自分をコントロールする姿）を意識した取組を提案又は実践されていますか。	77%	<i>82%</i>
問5	あなたは、自分から進んで登下校など地域において、子供たちに明るく元気なあいさつをすることができますか。	77%	<i>92%</i>
問6	あなたは、子供たちに対して、いじめを許さないなどの人権意識を育てる言葉かけなどをしていますか。	77%	<i>100%</i>
問7	あなたは、子供たちが約束やきまり（地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などでの遊び方等）を守るような声かけや取組をしていますか。	62%	<i>92%</i>
問8	あなたは、子供たちの生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣が身に付くように、家庭への声かけや啓発等の提案又は実践をされていますか。	62%	60%
問9	あなたは、子供たちに対して、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着を身につける提案又は実践をされていますか。	77%	<i>82%</i>
問10	万田小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	92%	<i>100%</i>
問11	万田小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	92%	<i>100%</i>
問12	万田小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	85%	<i>100%</i>
問13	万田小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	85%	<i>91%</i>
問14	万田小は、学校や学級の様子及びお知らせ（学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等）を適切に伝えていると思いますか。	100%	100%
問15	万田小の働き方改革に向けた業務改善について、提案又は実践をされていますか。	85%	70%

#### 【学校教育目標に関する内容 問1～問4】

- 教育目標の実現や子供たちに身につけほしい3つの資質・能力（主体性・協働性・自律性）を意識した取組の提案や実践については、前回から大きく向上しています。学校運営の一員として、学校運営協議会の中でのご発言や様々な場面で意識されていることに感謝します。今後も引き続きよろしくをお願いします。

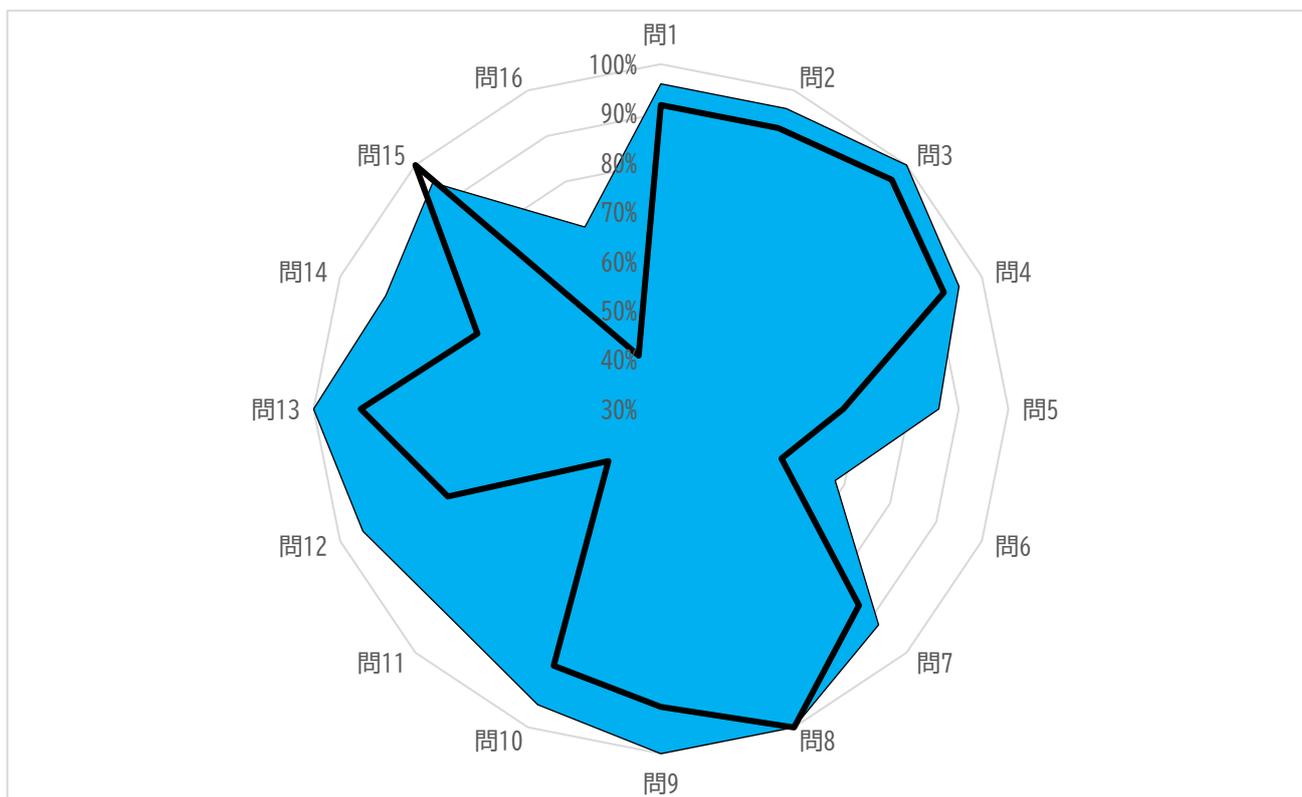
#### 【子供たちへの生活や規範意識、地域愛の育成に関する内容 問5～問9】

- 前述のとおり、子供たちへのあいさつや人権意識を育てる言葉かけ、ルールを守る声かけなど、子供が育つ学校づくりの運営者としての意識と実践が反映されていることが見て取れます。
- ▲ 前回同様、「生活リズム」に関する各家庭への声かけや啓発については、低い評価となっていました。しかし、この項目は本校の大きな課題の一つでもあり、学校運営協議会でも今後話題にした上で、PTA 等とも連携方策を探っていく必要があると思います。

#### 【万田小の教育活動に関する内容 問10～問15】

- いずれも高い評価をしていただいています。本年度の学校運営協議会の中でも、子供たちとの熟議や、第1回目の学校評価から浮かび上がった課題について積極的に話し合いをしていただきました。今後も学校運営協議会では、学校運営をともに進めていくために、学校教育目標の実現に必要な取組や課題を常に共有し、熟議を重ねていきたいと思えます。そして、子供が自立する（子供が育つ）ために必要なことを出し合い、検証していけるようにしていきます。
- 「学校からの情報発信」につきましても、前回に引き続き高い評価をいただきました。学校だよりやHPなどを通して、情報発信に取り組んでまいります。
- 本校の人権教育や学力向上の取組についても高い評価をいただきましたが、今後も学校の様子をいつでも参観していただけるようお知らせしてまいりますので、いつでも遠慮なく学校に足を運んでいただきたいと思います。
- ▲ 本校の働き方改革につきましては、第3回学校運営協議会の中でも話題になりました。各委員の皆様にも協議をしていただき、心強いご意見を多数お話しくださいました。職員の定員が満たされておらず、どうしてもマンパワーに頼らなければならない中で、地域人材の活用にも積極的にご協力いただきましたことに感謝します。また、これまで学校の負担の1つとなっていた「登校班の編成及び苦情対応」に関して、PTAから、来年度以降登校班を廃止し、自由登校にするという提案では、危険個所の見守り等において地域の協力をお話しいただいたことも大変心強いご提案でした。本校教育目標を実現させていくためにも、職員が心身ともに健康であることが不可欠です。今後も業務改善、校務改革を進めて参りますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 【教職員による評価】



黄色のセルは8割未満の項目 2回目の斜体文字は1回目から上昇したものです。

		1回目	2回目
問 1	『あなたは、本年度の教育目標「誰もが活躍し、子供が自立できる学校」に向けた取組ができていますか。』	92%	<i>96%</i>
問 2	『あなたは、主体性（進んで挑戦しようとする姿）を意識して教育活動に取り組んでいますか。』	92%	<i>96%</i>
問 3	『あなたは、協働性（仲間とともに高めようとする姿）を意識して教育活動に取り組んでいますか。』	96%	<i>100%</i>
問 4	『あなたは、自律性（自分をコントロールする姿）を意識して教育活動に取り組んでいますか。』	92%	<i>95%</i>
問 5	『子供たちは、「学習内容がわかる」と思っていますか。』	67%	<i>86%</i>
問 6	『子供たちが、工夫して取り組める宿題や家庭学習を出していますか。』	56%	<i>68%</i>
問 7	『あなたは、自分から子供たちに対して、明るく元気なあいさつをすることができますか。』	86%	<i>92%</i>
問 8	『あなたは、いじめを許さないなどの人権意識を育てる指導や取組をしていますか。』	100%	100%
問 9	『あなたは、子供たちが、約束やきまり（家庭内・学校内・交通ルール等）を守るような指導や取組をしていますか。』	91%	<i>100%</i>
問 10	『あなたは、子供たちが、生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣を身に付けるような声かけをしていますか。』	86%	<i>95%</i>
問 11	『子供たちは、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着が身についていると思いますか。』	45%	<i>90%</i>
問 12	『あなたは、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）や地域人材を活用した取組に力を入れていますか。』	77%	<i>95%</i>
問 13	『あなたは、子供たちの学力を伸ばすために、授業や個別指導などを工夫して行っていますか。』	91%	<i>100%</i>
問 14	『あなたは、子供たちの体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていますか。』	70%	<i>90%</i>
問 15	『あなたは、学級や子供たちの様子及びお知らせを適切に伝えていきますか。』	100%	95%
問 16	『あなたは、働き方改革に向けた業務改善ができていますか。』	42%	<i>70%</i>

#### 【学校教育目標に関する内容 問1～問4】

- 4つの項目ともに高い水準を維持するだけでなく、向上しています。学校教育目標や身につけてほしい3つの資質・能力（主体性・協働性・自律性）を常に意識して取り組んでいることがわかります。

#### 【学習に関する内容 問5～問6】

- 問5「子供たちは『学習内容がわかる』と思っているか」については、7月時点から19ポイントの向上が見られました。授業や習熟の時間を通して手応えを感じているのではないかと思えます。
- ▲ 問6「子供たちが工夫して取り組める宿題や家庭学習」については、学校全体で自主学習への取組を始めました。学年の実態に応じた内容ではありますが、実施後の子供たちの感想にもプラスイメージの言葉が数多く見られました。しかし、前回よりも向上したとはいえ、いまだ8割未満となっています。今後も、子供たち自身が考え・工夫して取り組めるような家庭学習を提案していきたいと思えます。

#### 【子供たちの生活等に関する内容 問7～問10】

- 前回同様、いずれも高い評価となっています。引き続き、全職員が同じスタンスで「いじめを許さない」といった人権意識の醸成を進めていきたいと思えます。また、約束やきまりについて、子供たちの規範意識を高めるためにも、「ならぬものはならぬ」という姿勢を持つとともに、時代にそぐわないルールについては再検討するといった柔軟さも持って取り組んでいきたいと思えます。
- 生活リズム等への声かけは、ご家庭とも連携をしながら引き続き進めて参ります。

#### 【地域とのつながりや連携に関する内容 問11～問12】

- 前回子供たちの評価と大きく乖離していた問11「地域への愛着」に関して、職員の意識も高い結果となりました。総合的な学習の時間や生活科、他の教科等でも地域との連携を数多く取り組んできた手応えを感じているのだと思われまます。
- 学校運営協議会における子供たちからの提案もあり、多くの地域人材に活動の補助等を依頼しているところです。今後も「人は人のシャワーを浴びて人になる」を合言葉に、全校で地域人材活用を進めていき、地域愛・郷土愛の高い子供たちが増えることを願っています。

#### 【教職員自身の取組に関する内容 問13～問16】

- 予測不能な未来社会を担っていく子供たちには、これまでのような受け身になる授業ではなく、自分たちで授業を創り上げる「子供主体の授業」に変わらなければなりません。本校では、荒尾市が進める「あらおベーシック」の授業スタイルを全校で取り組んでおり、着実に授業が変わってきていると言えます。
- 運動場の排水工事が終わり、広くなった運動場を使って、各学年運動量を確保した取組が進みつつあります。
- ▲ 働き方改革については、職員が心身ともに健康であることが、子供たちに向き合えるようになると言われていています。学校ガイドにも明記させてもらったことや留守番電話の周知も成果となっています。職員不足の中ではありますが、教育の質を確保しつつ、業務改善を進めていきます。引き続き、ご理解ご協力をお願いします。